



(法第28条第1項関係様式例)

令和元年度事業報告書
令和元年7月1日から令和2年3月31日まで

(NPO 法人 しらさぎ)

1 事業の成果

令和元年度は、事業年度の変更により令和元年7月1日から令和2年3月31日の9ヶ月の期間となりました。また、前期よりボランティア計画を一月前倒しにしたことにより八代城跡石垣清掃ボランティアと南阿蘇村植林地下草刈二つの事業となりましたが、八代城跡石垣清掃ボランティアの活動時期を8月から7月初旬に変更したため、例年より暑さを凌ぐことができ前期に続き計画通りに成果を上げることができました。

個別の活動実績としては、7月の八代城跡石垣清掃ボランティアが参加171名(内子供10名)、11月の南阿蘇植林地下草刈が参加者41名(内子供2名)にて実施ができ、参加者の皆様も活動による達成感を味わうことができ喜ばれた次第でした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

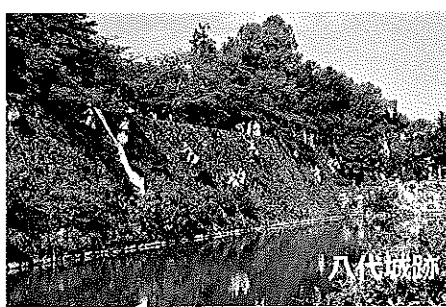
定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
①公共施設及び 公共的な場所で の環境整備事業	・八代城跡清掃 ・南阿蘇植林地下草刈 ・その他の事業	7月6日 11月9日 —	八代市 南阿蘇 —	5名 4名 —	171名 41名 — 熊本県内	351
②地域環境に関 する情報の 収集と提供	①に含む					0
③事業活動を通 して子供の育成 を図る事業	・八代城跡清掃 ・南阿蘇植林地下草刈	7月6日 11月9日	八代市 南阿蘇		子供10名 子供2名	0
④この法人の目 的を達成するた めに必要な事業	・事業の実施準備	都度				30

NPO法人しらさぎ 2019年 活動報告



■NPO法人しらさぎ 2019年 活動報告

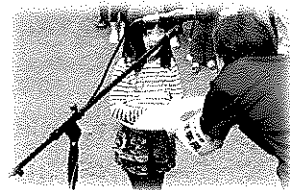
今年も「NPO法人しらさぎ」の活動にご賛同及びご協力を頂き誠に有難うございました。
 本年は、暑さ（熱中症）対策として、例年より熊本城・八代城跡清掃ボランティア活動を1ヶ月前倒し致しました。熊本震災後、熊本城の復旧が進む中、熊本県立第一高等学校付近の石垣と桜橋公園の清掃を6月に実施し、翌月に八代城跡の清掃活動を行いました。また、6月と11月は天候に恵まれ、南阿蘇植林地の下草刈りを計画通り実施することができました。来年もボランティア活動を更に充実させて参りたいと考えておりますので、変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。



参加者から開催時期を前倒しにしたことで、例年より作業しやすかったとの意見をいただきました。



今年もたくさんの子供たちが参加してくれました。



2019ボランティア活動実績

日時	活動内容	参加人数
6月1日	熊本城清掃	200名 内 子供12名
6月22日	南阿蘇下草刈り1回目	51名 内 子供2名
7月6日	八代城跡清掃	171名 内 子供10名
11月9日	南阿蘇下草刈り2回目	41名 内 子供2名
	ボランティア参加者合計	463名 内 子供26名

NPO法人しらさぎ

令和元年度 活動計算書

令和元年7月1日から令和2年3月31日まで

(NPO法人しらすぎ)

科目	金 額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費	48,000	48,000	
2 受取寄附金	1,096,000	1,096,000	
3 受取助成金等	0	0	
4 事業収益	0	0	
5 その他収益			
受取利息	6		
雑収入	2,000	2,006	
経常収益計			1,146,006
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
福利厚生費	13,916		
飲料費	41,347		
食材費	73,199		
旅費交通費	60,000		
消耗品費	33,457		
リース料	113,040		
保険料	30,000		
減価償却費	15,566		
その他経費計	380,525	380,525	
事業費計			
2 管理費			
(1) 人件費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	13,500		
租税公課	960		
支払手数料	25,180		
賃借料	139,500		
業務委託費	99,000		
旅費交通費	9,100		
雑費	2,000		
その他経費計	289,240	289,240	
管理費計			
経常費用計			669,765
当期経常増減額			476,241
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			476,241
前期繰越正味財産額			90,115
次期繰越正味財産額			566,356

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 3 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載する。

令和元年度貸借対照表
令和 2年 3月 31日現在

(NPO法人しらさぎ)

科目	金額 (単位 : 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	537,818		
流動資産合計		537,818	
2 固定資産			
工具器具備品	28,538		
固定資産合計		28,538	
資産合計			566,356
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		90,115	
当期正味財産増加額		476,241	
正味財産合計			566,356
負債及び正味財産合計			566,356

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあつては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別表として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和元年度)

法人名：（ NPO法人しらさぎ ）

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法（定額法10年 償却率 0.1）

(2)施設の提供等の物的サービスの受け入れは発生しておりません。

(3)ボランティアによる役務の提供はございません。

(4)消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	公共施設及び公共的な場所での環境整備事業		その他この法人の目的を達成するために必要な事業			合計
	八代城跡清掃	南阿蘇下草刈				
(1) 人件費						0
給料手当						0
臨時雇賃金						0
福利厚生費						0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
福利厚生費	13,916	0	0			13,916
飲料費	40,900	447	0			41,347
食材費	42,703	30,496	0			73,199
旅費交通費	0	60,000	0			60,000
消耗品費	2,598	16,819	14,040			33,457
リース料	100,764	12,276	0			113,040
傷害保険	15,000	15,000	0			30,000
減価償却費	0	0	15,566			15,566
その他経費計	215,881	135,038	29,606	0	0	380,525
合計	215,881	135,038	29,606	0	0	380,525

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
工具器具備品	44,104	0	0	0	15,566	28,538
合計	44,104	0	0	0	15,566	28,538

4. 借入金の増減内訳

該当ございません。

令和元年度財産目録
令和 2年 3月 31日現在

(NPO法人しらさぎ)

科目・摘要	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	0		
普通預金 (肥後銀行託麻支店)	537,818		
流動資産合計		537,818	
2 固定資産			
工具器具備品 (水力発電機)	28,538		
固定資産合計		28,538	
資産合計			566,356
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			566,356

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、財産目録の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。